

# 広報 いまり

市の人口	
12月1日現在	
総人口	59,580人
男	27,930人
女	31,650人
世帯数	14,772世帯

昭和29年8月19日  
第3種郵便物認可

毎月1日発行 定価1部5円 昭和47年1月1日 伊万里市役所秘書企画課発行

No. 215



明けましておめでとうございます

(竹の古場放牧場から伊万里湾を望む)

### 広報こよみ

- |                         |                 |
|-------------------------|-----------------|
| 4日 仕事始め                 | 15日 成人式(市民会館)   |
| 8日 小・中学校始業式             | 中島杯争奪各町対抗マラソン大会 |
| 9日 消防出ぞめ式(国見台陸上競<br>技場) | 20日 無料法律相談      |
| 11・25日 交通事故相談日          | 21日 大寒          |
|                         | 23日 東西松浦駅伝競走    |
|                         | 27日 旧正月         |

確かめよあなたの速度と車間距離

47' 1月





# 謹賀新年



市民の皆さん、あけましておめでとうございます。伊万里市がどういうところか、そのように変わっていくつあるのか、お正月に暇をつくって

一度市内をひとめぐりしていただきたいと思えます。立花町の岩栗橋に、大きな槌音がびびき、南波多町など東部地区の山野にはブルドーザーがかげめぐり山代町久原の海中からは、巨大な岸壁が頭を出しつつある姿が目につかれるにちがいありません。それは、伊万里湾や市街

このように、ことしはあらゆる分野に事業が山積していますが、物事には、時機があり、やるべきときは総力をあげてやりとげなければならぬと思えます。伊万里市の規模では、三十億円が精一杯の予算ですが、昨年は、三十八億円を越す事業を行いました。ことしは、市庁舎建設を

地、そして、農村に魅力をつけて、若い人の住みつく豊かな伊万里市づくりが始まったからです。そのうえ、ことしは、名村造船所の誘致と、伊万里北松地域広域市町村圏の中核都市にふさわしい、電算機センターなどの根幹事業にとりかかることになっています。

はじめ、都市計画事業など公共事業が大幅にふえており、予算規模はさらに増加することが予測されます。しかし、幸い、政府の景気浮揚対策で、起債も補助金も増加しておりますのでまさに、いまがチャンスだということもできます。問題は、それをやりこなす体制づくりが大変ですが

その基盤が道路にあるからです。伊万里市を、佐賀県との割合から見ると、広いわりに人が住んでいません。また、人の住んでいるわりに働いている人が少なく、働いているわりに所得は低く面積や人口・就業人口・所得を比較すると、ちょうど逆富士山の姿になります。

## 夢を実現するスタートの年に

伊万里市長 竹内通教

これは、だんだん尻尾になりつつあるのが、それがあつて行くおそれがあります。ことしは、子(ね)の年。しかも十二支のはじまりですからことしを「夢を実現するスタートの年」として富士山のような、安定した町になるように努力しなければなりません。

市民皆さんの積極的なご指導とご協力をお願い申し上げます。新年のごあいさつといたします。

これが、いわゆるねずみ算で、物がどんどんふえるところから、子(ネ)の年は、商売繁昌の年ともいわれている。ことしは、商売をする人が一番奮起すべき年である。ただし、最近では、ふえてはならないものがふえてゆく傾向がある。ごみ・公害・交通事故などがそうである。これからは、人間の知恵で、逆ねずみ算にしてゆかなければならない。ことしは、伊万里市にとつて、伊万里湾開発や都市計画、さらには、新しい農政に向かつてやるべき事業が山積している。この事業をりつばにやりとおすことができれば、それこそねずみ算の結果がでてくるにちがいない。新しい伊万里へ脱皮しようとしているいまこそ、市民の総力を結集しなければならぬときである。そのどこが欠けることにもなれば、バランスはこわれてしまう。ねずみ算的に希望のもてる年はそうザラにはない。十千・十二支の改まった王子のことしを伊万里市の飛躍の発展へのスタートにしたいものである。



# 完成は4月のなかば

## 勤労青少年体育センター着工

勤労青少年体育センターの起工式は、建設を担当している雇用促進事業団の九州支部長や、県経済部長など関係者約25人が出席、12月1日国見台陸上競技場前の建設現場で行なわれました。

この体育センターは、勤労青少年の福利厚生施設として、国が建設するものです。

しかし、国の建設基準は、3,000万円で、規模が小さく、十分な施設ができないため、市の単独事業によって、敷地造成や建築費などに、約2,500万円を上積みして建設することになっています。

建設敷地は、国見台陸上競技場前に2,330平方メートルの造成を終わっており、ここに鉄骨と一部鉄筋コンクリート造りの2階建て、延べ1,386平方メートルを建設します。

なお、建設費総額は4,665万円で

国が2,878万円・市が1,787万円を負担、ことし4月中旬までに完成する予定です。

施設の規模は、バレーコート2面・バスケット2面・バドミントン6面・卓球なら10組が同時に使用できる広さです。

また、更衣室・シャワー室・便所のほか、研修室や保健室などもあり

ます。

市内には、これまで、このような体育施設がなく不便でしたが、こんごは、設備のととのったこの施設を十分利用できることになり、働く若い人たちの位位向上やレクリエーションの場として、大きな役割を果たすこととなります。

また、この体育センターの周囲には、来年度に50メートル・8コースの水泳プールを建設するほか、市の5か年事業計画に基づいて、テニスコートや子ども遊園地・道路などを計画的に建設し、この一帯を運動公園として開発することになっています

# 老人福祉センターも着工

## 開館はことしの4月から

松島町の市文化センターに建設することになっていた、老人福祉センターも、11月に着工しました。

建設位置は、市民会館会議棟の裏側です。敷地は、約2,000平方メートルで、鉄筋コンクリート2階建て延べ738平方メートルを、ことし3月までに建設します。

建設費は、本体工事が2,635万円・機械設備工事1,050万円・電気設備工事425万円、あわせて4,110万円です。国と県で470万円を負担、のこりは市費と国民年金特別融資金を当てることにしています。

センターの規模は、1階が、20人ていどが同時に入浴できる浴場や機能回復訓練室・健康相談所・会議室などです。なお、機能回復訓練室に

は、老人の機能回復訓練用として、自転車運動機やそう艇運動機各1台のほか自動アンプ機2台・あく力計2台・輪投げなどを備えます。

また、健康相談室には、週1回医師を招き、無料で健康診断や健康相談に応じることにしています。

2階は、64畳敷きの集会室や3室の娯楽室と図書室などがあります。

集会室は、舞台付きで、余興もできるようにしてあります。

また、娯楽室には、囲碁や将棋盤を備え、ゆっくり楽しんでいただくことにしています。

おとしよりの皆さんには、長い間お待たせしましたが、今春からは皆さんの憩いの場、あるいは体力づくりの場としてご利用いただけます。

### 塩の効用

- ・魚などで中毒したときは、30グラムていどの食塩を、熱湯でとぎ、たくさん飲ませます。
- ・胃腸・酒酔い・ふつか酔いには食塩水または塩茶を服用します
- ・うすい食塩水でうがいすると感冒予防や虫歯痛・口中のあれなどに効果があります。

昨年、辛亥（カノト）で、十二支が一巡したしたがって、ことしは十千の方も改まり、壬子（ミズノエ・ネ）の年になった壬子の意味を十二支物語で見ると、壬（じん）は任（じん）で、陽気が万物を下に任養すること、とあり子（し）は滋（し）で、この時節には、万物の滋げる芽ばえのあること、と書かれています。

わかつたような、わからないような意味だが、一口にいえば、物の豊富な年であることに間違いはない。

子（ネ）は、ねずみに通じ、ねずみは、ねずみ算といわれるように、ふえかたがものすごい。

たとえば、ねずみが正月に十二匹の子どもを生んだとする。つぎの二月に、その子が十二匹の子どもを生むとしたら、一年で、驚くなかれ二百七十六億八千二百五十七万四千四百二匹となる。





# 土地改良事業で農道を舗装

## 第4回定例市議会ひらく

第4回定例市議会は、12月10日招集、人事院勧告に伴う市職員の給与改定と土地開発基金条例の一部を改正する条例や、昭和46年度一般会計特別会計補正予算などを審議・可決したほか、昭和45年度の一般会計決算と簡易水道など5つの特別会計決算を認定し、25日閉会しました。

そのあらまは次のとおりです。なお、追加議案として提出した特別職などの報酬改定内容は2月号で、昭和45年度決算は特集号でお知らせします。

### 一般会計に

#### 3億521万円を追加

◆昭和46年度一般会計予算に3億521万円を追加し、予算総額は38億1,671万円になりました。

こんどの補正は、市職員の給与改定に伴う人件費のほか、コミュニティセンター建設用地の取得・造成費および大規模児童遊園地の建設費や来年1月から実施する児童手当の支給に要する経費・公用地など先行取得のために設置している土地開発基金を増額するための経費・災害復旧費などの事業費の認承増に伴う変更など、当面必要な経費を補正しました。

この財源には、地方交付税の追加交付見込分1億2,238万円・県支出金6,583万円・国庫支出金2,861万円のほか、市たばこ消費税・財産収入・市債などを当てています。

歳出面では、各費目共通して市職員の給与改定に要する経費を計上しています。

人事院勧告に基づき、国家公務員に準じて、市職員の給与を改定するもので、給料や共済費などあわせて約7,040万円を追加しました。引上率は、12.01パーセントです。

▷総務費では、市職員の休職や退職

者の補充のための臨時雇賃金48万円市の会計事務を、新年度から伝票会計に改めることにしており、それに必要な経費など61万円・名村造船所の建設用地として取得する土地の登記事務を県が市に委託したための経費49万円のほか、児童・生徒の交通安全施策として、県が単独で補助制度を設けたために、本年度に大坪小学校の通学道路になっている小物成線や木須崎線など、延べ約2,500メートルを簡易舗装することにし、510万円を計上しています。

また、本年度大川町に建設するコミュニティセンターの建設用地購入費や造成費などに1,683万円を追加しました。

### 児童手当

#### 1,200人分を計上

▷民生費に4,593万円を追加しました。

同和地区に対する補助金60万円とコミュニティ事業で建設する児童遊園地の工事費602万円のほか、今月から支給する児童手当、約1,200人分の785万円、生活扶助や医療扶助費などの増加見込分2,000万円がおもなものです。

なお、児童遊園地は、当初47年度に建設することにしていました。し

かし、県が、本年度に補助金を交付することにしたために、建設年度を繰り上げたものです。

### 消防車進入路整備に 助成制度を新設

▷消防費に421万円を追加しています。

消防車の進入道路を整備するために、本年度から新たに助成制度を設け、1か所につき事業費40万円を限度として、その60パーセントを補助することにしたものです。本年度は大川町宿の1か所分8万円を計上しています。そのほかは防災基本計画書の作成費55万円などです。

▷教育費は、教育振興奨励寄付金の増加分30万円の追加と、井戸水を使用している南波多小学校ほか3校に備える水道滅菌機や、へき地中学校の備品購入費41万円・県の指定婦人学級となった波多津町婦人学級の研修費や、市連合青年団の産業祭に対する補助金など15万円・建設中の黒川公民館の防火水そう工事費20万円を計上したほか、佐賀県国体の誘致を成功させるために県体育協会負担金として22万円などを追加しました

▷衛生費の補正は、問診による注射不適格者の増加に伴うワクチン購入費の不用額や、あっせん医薬品の購入費198万円を減額したことと、立花台地の不燃物捨場への不法投棄を防ぐための夜間管理委託料10万円がおもなものです。

▷労働費は、失業対策事業の就労者の増加見込分509万円と、昭和45年度一般失業対策事業の国庫負担金の精算金29万円などです。



## 市営土地改良事業で 道路1,700mを整備

▷農林水産業費は、農業費に2,058万円・林業費836万円・水産業費に293万円を追加しました。

農業費の追加は、米の生産調整推進事業に対する補助金や、二段米選機導入補助金などに147万円・農地保有の合理化を進める目的で設立された社団法人佐賀県農地保有合理化事業公社への出資金20万円のほか南波多町で実施している農業構造改善事業の近代化施設事業を1年繰り上げたため、その事業費に2,611万円大川町竹野開拓パイロット地区に設置する病害虫防除施設や、なしの無袋栽培モデル事業による夜蛾回避燈設置費などの補助金に544万円を計上しました。

また、国の補助対象にならない小規模な土地改良事業を、本年度から県が単独補助事業として制度化したために、市営土地改良事業によって大川町の川西地区ほか2か所に、延べ約750メートルの道路改修と、南波多町高瀬地区ほか2か所の農道延べ980メートルを舗装することにしその工事費に1,184万円、同じく小規模土地改良事業により、団体営で実施される大川町の東田代・井手口戸石川地区15.5ヘクタールの農地造成事業に対する補助金1,113万円などを計上しています。

林業費の追加は、林業経営近代化事業で、東山代町滝川内に開設する延べ約800メートル・幅員4メートルの作業道工事費100万円と、松食虫駆除に対する補助金など181万円のほか、国の景気浮揚対策に関連して、追加認承が見込める松浦町藤の川内の、林道大谷線(延長620メートル・幅員3.6メートル)の建設費などです。

水産業費の追加は、漁船保険や漁業共済事業への加入を進めるため付

加保険料に対する補助金33万円と波多津漁港の修築事業の認承増86万円などです。

▷災害復旧費3,680万円の追加は43年以降の農地や農業用施設の災害復旧費と、46年災害の公共土木施設復旧事業の認承見込分を計上したものです。

## 延命橋などかけかえに 1,371万円を追加

▷土木費2,674万円の追加は、道路橋りょう費と住宅費がおもなものです。

道路橋りょう費では、道路の維持補修を進めるため、資材購入費として300万円・市町村道整備事業で実施している楠久〜鳴石線の施行年度繰り上げ認承分の工事費や同和地区の道路改良費972万円を追加しています。

都市計画費は、伊万里川改修に伴う延命橋や、公園橋・松島橋の県営委託工事費に1,371万円を計上したほか、街路の設計・調査委託料として215万円を追加しました。しかし八谷搦地区で実施している下水路事業が、大幅な認承減となったために全体的には127万円の減です。

住宅費の追加は、同和地区の市営住宅の基準面積が、本年度から改められたため、すでに建設している14戸も改善することにし、その経費に724万円、立花台地の市営住宅地区に建設する集会所の工事費75万円のほか、立花台地の市営住宅建設用地購入費442万円がおもなものです。▷諸支出金に6,750万円を追加しました。これは、国が、前年度に引き続き普通交付税のなかに、土地開発基金費として6,538万円を算入したため公用地などの先行取得を積極的に進めることにして、土地開発基金への繰出金として6,600万円を支出することになりました。また、舗装することになっている市道白野〜東円造

寺線に水道本管を敷設するため、水道事業会計に150万円を貸し付けることにしています。

◆水道事業特別会計予算の補正は収益的支出では、職員の給与改定による人件費317万円を追加したほか電力料や予備費を減額して、事業費用の総額を7,886万円に、収入面には、給水収益金100万円を計上、収益の総額を7,894万円にしました。

資本的支出は、第5次拡張工事計画に基づいて実施している配水池の建設費に7,000万円、白野〜東円造寺線の配水管新設工事費に150万円新田川拡幅工事に伴う配水管移設工事費に78万円を追加しています。

なお、この財源には、企業債など7,228万円を当て、資本的収入額を1億1,589万円、支出を1億3,389万円にしました。

◆国民健康保険病院事業特別会計は、収益的収入と支出に、それぞれ821万円を追加・事業費用の総額を9,213万円・収益総額を9,657万円にしました。

支出面は、職員の給与改定による人件費320万円・患者の増加に伴う医薬品などの材料費407万円がおもなものです。収入には、患者の増加を見込み、医薬収益813万円などを当てています。

## 市民会館建設基金に 130万円の浄財

◆市民会館が完成したために、建設基金を廃止しました。昭和40年12月以来、市民のかたから寄せられた浄財は129万2,975円・延べ79人へのぼりました。このあたたかい善意に対し、心から感謝申し上げます。

◆土地開発基金に6,600万円を追加、基金の総額を1億2,300万円に増額しました。この基金は、公用地や公共用地の先行取得を進めるため昨年12月設置しましたが、需要が多いため増額したものです。



## あたたかい愛情と深い理解を

### 特殊教育研究発表大会ひらく

伊万里市特殊教育推進地区研究発表会（主催＝文部省・県教委・市教委）が、12月3日、市内小中学校や県内外の特殊教育にたずさわる先生約700人が参加して市民会館で開かれました。

市教育委員会は昭和43年に伊万里市特殊教育推進協議会を結成して地域ぐるみの組織体制のもとに歩み続けてきました。特に、昭和45年度は



文部省と県教育委員会の指定をうけ「すべての心身障害児に愛と光を」をテーマに、学校および地域社会の啓発・適正な判別・就学就職・精薄学級の指導などの実践を深め、就学事務の改善や施設整備の充実に努めすぐれた成果をあげています。

昭和47年度は、言語学級を開設しさらに特殊教育の充実に力をいれていくことにしています。

研究会は、午前中、山代東小学校の算数・大坪小学校の国語・国見中学校の進路指導・伊万里中学校での作業学習の授業を公開しました。

特に、伊万里中学校では、新築したばかりの特殊学級校舎で、男子14人が、機械や電気ロクロをじょうずに使って茶わんや植木鉢を作り、ガス窯で焼きあげる工程をみせ、また女子の枕カバーづくりが公開され参観者は、そのすばらしい技法と明る

い生徒の表情に見いていました。分科会では、判別の指導や啓発など4つに分かれて開かれ、活発な研究討論が行なわれました。

## 家族ぐるみの交通安全を 大坪町が交通安全総ぐるみ大会

交通事故をわたしたちの町から追放し、明るい町にしよう、大坪町区交通安全総ぐるみ大会（主催＝大坪町区交通安全推進協議会・大坪町交通安全母の会）が、12月7日、町民約300人が参加して大坪小学校講堂で開かれました。

同地区は、国・県道が町の中心を走っているため、車の通行がはげしく、特に幼稚園や保育園・小中学校があることから、子どもと老人を守るグループや安全運転グループをつくって交通事故の防止につとめています。なお、昭和46年度は、県の交通安全モデル地区にも指定されています。しかし、昨年1月から8月まで同町内で発生した交通事故は、81件で、死者1人・傷者120人で、市内でもトップをきっています。これは、よその県から同地区を通過する

午後からの全体会議は、文部省特殊教育課加藤安雄氏の「特殊教育におけるこんごの課題」と題して記念講演が行なわれました。

市内には、現在、小学校13校15学級104人と中学校8校12学級86人がひとりひとりの特性と能力に応じた教育を受けています。

わたしたちは、心身に障害のある子どもには、あたたかい愛情と深い理解をもち、知恵がおくれているからとか、からだが不自由であるからといって、十分な教育が受けられなかったり、それが原因で子どもと父兄に暗い気持をもたせるようなことがあつてはなりません。教育者だけにまかせず、このような子どもが社会の中ですくすくと育ち、社会的にも自立して幸福な生活を営むことができるよう、あたたかい手をさしのべようではありませんか。

車が急激にふえたためです。

意見発表で、大坪小学校6年喜多里佳さんは、道路の右端を歩いていた祖母が自動車にはねられ、病院にかつぎこまれてからの痛ましいようすを述べ、交通事故の恐ろしさを訴えました。また、婦人会や老人の代表による交通事故の体験発表があり参加者に深い感銘を与えました。

また、長い間、交通安全思想の普及・徹底に尽し、交通事故防止に献身的な努力をした二股健さんを表彰あわせて無事故運転者の表彰を行いました。

わたしたちは、いつ交通事故にあうかわかりません。家庭の中でつねに交通安全の対話をかさね、家から一歩外に出るときは、車に注意してね、の一言を忘れないようにしましょう。

### 将来を父母と語ろう

#### 家庭の日

12月16日～1月15日まで  
冬季青少年育成強調運動



### 城山の観光開発を

山代町久原住人

山代町久原の背後にそびえている城山（しろやま・標高三百四十六メートル）は、山代町民の象徴として七つ島とともに町民に親しまれている。

しかし、この城山は、鉱害のためか、各所に地割れや、かん没がおこり、いつ地すべりを起こすかわからない危険な状態である。

特に、二期などは、町民は不安な日々を余儀なくしている。このいつたいに残った炭鉱のボタ山は、国の危険ボタ山処理対策によって、ほとんど処理され危険はなくなったが、危険山の対策はないものだろうか。

わたしたち町民の不安を一日も早く一掃していただくために、次のことを提言して、関係者の善処をお願いしたい。

最近、若い人はもとより、家族づれでレジャーをたのしむ人がふ

えてきている。しかし、市内には残念ながら市民の欲求を満たしてくれるような施設に乏しい。

したがって、危険な城山は、むしろ、思い切った切りくずし、頂上を公園などにしてはどうか。

市内の展望は、竹の古場などに勝るともおとらぬところであり市民の憩いの場としては最適地ではないだろうか。



すでに、城山の裏側には、竹の

古場公園から

放牧場を通つ

て浦の崎に通

ずる道路も開

通し、城山の

そばには周囲

四キロメートル

ルもある田代池、また、この一帯

は、なだらかな広い台地になって

いて開発の余地はいくらもある。

竹の古場を結ぶハイキング・ド

ライブコースとしても最適である

さらに、表側にロープウェイをか

ければ市外からの観光客誘致にも

つながるのではないだろうか。

切り取った土砂は久原地先の工

業用地造成にあてれば防災・用地

造成・観光の一石三鳥である。

## 商品性の高いみかん作りを

### 市農協が初のみかん祭り

市農業協同組合主催の「みかん祭り」が、12月1日、みかんの生産者

など約1,200人が参加して市民会館で開かれました。

このみかん祭りは、果樹農業をとりまく諸情勢に対処できる産地体制と生産技術・経営の改善をめざして会員相互の融和をはかるとともに伊万里みかんの振興

をはかるために開いたものです。

会場には、市内の優秀みかんや全国有名産地のみかんなどが展示され伊万里みかんの販売状況報告や果実立木品評会入賞者の表彰・記念講演などが行なわれ、同農協果樹研究同志会による決意表明で「うまい佐賀

みかんづくり運動を展開し、商品性の高いみかんづくりに取り組み、品



▷ミス・伊万里みかんに選ばれた人たち◁

質の向上と反収の増加を図ろう」など6項目を決議しました。

午後からのアトラクションでは11月20日の審査会で選ばれたミス・伊万里みかん6人が発表され、会場をうめた出席者から大きな拍手が贈られました。ミス・伊万里みかんは市

農協や西松浦の農協などから推せんされた16人のなかから選ばれたものです。この6人は、そろいの制服を着て、12月4日から富山市や長野県上田市・新潟市・東京などの各青果市場を回り、各地の官公庁や小売り店頭に立って「伊万里みかん」を宣伝しました。

ミス・伊万里みかんに選ばれた6人とみかん品評会の特賞受賞者は次のとおりです。

〔ミス・伊万里みかん〕以下敬称略

- ・川尻芳野（21歳）西有田町
- ・池田千代子（23歳）大坪町下古賀
- ・諸石友子（22歳）大川内町小石原
- ・松尾博子（21歳）大坪町永山
- ・杉山トシエ（19歳）黒川町花房
- ・田代きたる（23歳）松浦町提の川〔みかん品評会〕

- ・山下善朗（山代町）
- ・田原藤雄（波多津町）
- ・古賀等（山代町）
- ・川久保勝治（山代町）
- ・山口哲男（大川内町）
- ・原実（大坪町）
- ・古賀定（波多津町）
- ・井上春男（黒川町）
- ・松尾良登（波多津町）
- ・中野要蔵（松浦町）



# 15年間つづく墓地の清掃

## 黒川町花房婦人会

15年前から部落にある全部の墓を毎月清掃奉仕している婦人会があります。

この婦人会は、黒川町婦人会花房支部（前田真弓支部長・21人）です。毎月開かれる婦人会の会合でその月の清掃日を決め、部落8か所にある墓地（約200基）の清掃奉仕を続けています。

11月の清掃日にあてられた25日には、カマや竹ぼうきを持った婦人会の人たちが墓地に集まり、はき寄せた落ち葉に火をつけ、世間話に花をさかせながら、せっせと奉仕作業にせいだしていました。

竹筒の花を取り替えていた老婦人は、この奉仕作業は15年ほど前に婦人会の会合で話が持ちあがり、「一度は誰もが世話になるお墓であり先祖の霊を慰め、婦人の手で墓地を美しくしょう」と、はじめたもので最近では、毎月の墓掃除が楽しみです。部落の婦人が先祖の墓地に集まり、掃除をしながら世間話をするうちに親しみを感じ、融和が生まれています。部落にある墓の中には無縁者の墓や一家そろって都会に職を求めて部落を去った先祖の墓が8墓あり、年の暮れにはこの人たちから感謝をこめた手紙と心づけが婦人会に



贈られてきます。毎月掃除をしていますので、約1時間半もあれば結構です。いつまで続くかわかりませんが、わたしのからだの続く限り奉仕して嫁に引き継ぎたいと思っていますと話してくれました。



# 36人の白衣の天使誕生

## 厳粛に准看護学院のたい帽式

伊万里・有田地区医師会付属准看護学院（小島満義学院長）の第7回たい帽式が、12月6日、市民会館の第1会議室でござそかに行なわれました。

たい帽式は、式場におかれたナイチンゲールの像が、手にたずさえるローソクのあかりの中で行なわれました。

昨年4月に入学した36人が、小島学院長から、ひとりひとり純白のぼうしをかぶせてもらい、そのあとじゅんじゅんに、ナイチンゲールの持つローソクの火を、自分のローソクに移しとってナイチンゲールの精神に徹することを誓いました。

たい帽式を終えた36人は、准看護婦としての基礎学習をしたあと、病院などで1年間実習をつかむことになっています。

また、伊万里・有田地区内の病院などに5年以上勤務した19人のかたが表彰されました。

### 9日に消防出ぞめ式

恒例の消防出ぞめ式は、1月9日国見台陸上競技場で行なわれます。

消防団員1,257人が、伊万里小学校と伊万里中学校・伊万里農林高等学校の3か所に分かれて集合、午前8時20分から国見台陸上競技場まで市中行進したあと、観閲式やポンプ操法点検などが行なわれます。

なお、伊万里小学校からの行進には、消防自動車5台とポンプ積載車18台も参加します。

皆さんの生命・財産を守るために日夜ご苦労いただいている団員のかたたちをぜひ激励してください。

## 消費者通信

### 割賦販売についての苦情は？

最近、消費者の8割は割賦販売を利用してるといわれます。

あなたは、その契約書を良く読みましたか、また、その契約書どおりになっていますか、悪質な業者に泣かされているようなことはありませんか？、このような割賦販売についての苦情のほか、消費生活に関する苦情はどしどし相談員までお申し出ください。

消費生活苦情相談員 永山松江



## 気をはいた伊万里農高

### 全国大会で測量など4種目に入賞

11月、岡山で開かれた第22回日本学校農業クラブ全国大会で、県代表として出場した伊万里農高等学校は、全国49校の代表と技を競い12種目のうち4種が優秀校として受賞しました。同校は、これまで12回出場しています。また、4種目を一度に

受賞したのは全国でもはじめてです。受賞した種目と出場者は次のとおりです。

▷平盤トランシット＝岩崎聖・山口敏宏・原和利 ▷意見発表＝福田義人 ▷畜産鑑定＝林泰成 ▷林業鑑定＝山本洋一郎



### 広域圏のまちを訪ねて

#### (4) 福島町

## 特色ある農業と観光地に

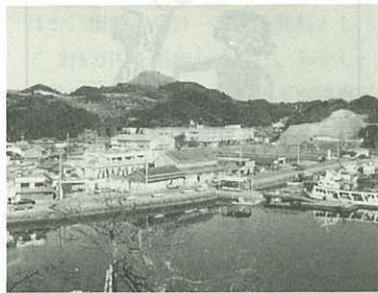
福島町は、本市とは橋一つへだてた人口およそ 6,030人の町。

昭和42年10月、町民の念願であった福島大橋の完成によって、交通や産業など、あらゆる面での開発が可能になった。

町の基幹産業は、石炭と農業。特に、町の中堅企業である中興鉱業は北松一円の炭坑が閉山した中で、堅坑の開発によって、年産34万トンの石炭を産出、同企業の町税収入に占める割合は、50パーセントにも当たるといわれる。しかし、激変する石炭産業の将来は全く楽観を許さない町は、福島大橋の完成を機に、新しい地域開発に取り組んでいる。特に、この伊万里湾開発に伴う工業地帯の中での休養地・農産物の供給地として、特色ある農業と観光地づくりをめざしている。

ところで農業は、ほとんどが漁業などとの兼業であり、経営規模も極めて零細である。それに、支柱をなす水稲は、鉱害による水源枯渇や米の生産調整など、将来への期待が薄いため、自立できるみかんや畜産とそ菜園芸などの振興に力を入れてい

る。農業構造改善事業などによって造成が進んだみかん園は、現在 180ヘクタール・850トンの生産をあげているが、これを 250ヘクタールに広げる計画。また、43年から奨励し



ているレタスの促成栽培に成功、現在30ヘクタールを栽培し、阪神地方へ出荷しており、これも将来50ヘクタールまで普及して町の特産野菜として売り出すことにしている。産業の要となる道路は、町の幹線である県道は、ほとんど舗装を終わり、町の循環線や各部落を結ぶ主要町道は、住家連たん地区を重点に改良・舗装が進められており、舗装率は30パーセントに近づいている。

町政推進の中で、教育は最優先である。2つの小学校と中学校は、い

ずれも鉄筋3階建てで、児童・生徒は恵まれた環境と整備された施設で勉学に励んでいる。また、遠くから通学する子どもには、交通費の60パーセントを町が負担している。

生活環境の整備も進んでいる。総工費 5,300万円をかけて建設した鉄筋2階建ての町立診療所や火葬場も42年に 350万円をかけて建設した。

なかでも、水道の普及率は 100パーセントに近い。

しかし、町の財政が豊かなわけではない。自主財源をみると、わずか10パーセント台である。しかも、40年度までは赤字団体として厳しい運営の中で、限られた財源から赤字を解消しつつ、起債などによる効率的な財政運営が図られてきた。

そのため、45年度の公債率（財源の中に占める起債の割合）は 9.7パーセントと、他市町村に比べ高い比率を占めている。

さらに、橋の完成によって、離島振興法の適用除外・各種公共事業に伴う地元負担金などはすべて本土なみとなり、財政的な打撃は強い。しかし、国・県などの制度事業などを積極的に取り入れながら、離島感の脱却に懸命である。

いずれにしろ福島町は、橋の完成とともに、本市とはますます密接なつながりを持った。こんごは、伊万里湾開発と関連して本市ともどもに発展が期待されよう。



# 山代町が4年連続優勝

## 市内一周駅伝競走大会

恒例の第18回市内一周駅伝競走大会(市体育協会・市教育委員会など主催)は、12月12日、雨と小雪のちらつく悪天候の中で、9か町の選手が参加して行なわれ、後半からリードを保った山代町が4年連続・通算5度目の優勝をとげ、紺色の大優勝旗を獲得しました。

コースは、久原駅前をスタートして、里〜伊万里〜黒川〜波多津〜南波多〜大川〜松浦〜市役所間の9区間・58.1キロメートルで行なわれ81人が熱戦を展開しました。

成績は次のとおりです。

- 1位 山代町 (3時間27分52秒)
- 2位 二里町 (3時間32分23秒)
- 3位 伊万里町 (3時間36分25秒)
- 4位 大川町 (3時間37分19秒)



▷テープを切る山代町のアンカー金子君◁

- 5位 南波多町 (3時間42分57秒)
- 6位 松浦町 (3時間45分42秒)
- 7位 東山代町 (3時間47分11秒)
- 8位 波多津町 (4時間0分32秒)
- 9位 黒川町 (4時間7分52秒)

### 成人式は市民会館で

1月15日は「成人の日」です。

市は、おとなになったことを自覚して、みずから強く生きぬこうとする青年を祝い励ますために、1月15日、市民会館大ホールで成人式を行います。該当者は、9時30分までに会場に到着してください。

ことしの成人該当者は、昭和26年1月16日から27年1月15日までに生まれたかたです。

当シリーズ(9)の発表会案内をうけて、今回はその実施概要をお知らせします。

12月3日、発表会当日は、前日までの低迷を吹きはらい、思索型絶好の研究会日和となり、参加会員も約1,000人と読まれる盛況であった。文部省・県教委はもとより、遠くは鹿児島県川内市・久留米市・島原市・佐世保市の各教委から大挙して見えたほか、県内各市町村教委・各小中学校・施設から、また市内からは市長はじめ県・市議会議員ほか多数の来賓・PTA役員・親の会会員多数のご出席ご奨励をいただいた。記して深く感謝申し上げたい。

授業は、山代東小・大坪小・国見中・伊万里中の4校に公開してもらったが、いずれも周到な計画・準備に基づいて教児一体化のすばらしい展開で、市内特殊教育の実態を遺憾なく代表発表していただいた。特にそれぞれの学校経営の中で特殊教育の位置づけや、全体の中での教育実践を参観者にその目で確かめてもらったことに大きな意義があったと思

## 特殊教育



(11)

う。各校担任ほか職員各位に深く敬意を表したい。分科会は、それぞれに参加者も多く、意識的に問題含みの提案がなされ、その後の質疑意見を誘発して活発な討議が交わされた。当市にとっては、もとより、多くの参加会員にとっても将来への大いなる示唆を得られたものと思う。各分科会関係者のご苦勞を称えたい。

昼食時間のレクがまたすばらしかった。会場は、新築開館したばかりほどよい暖房の中で静寂穏やかな琴の音に引き上げられるどん帳・みごとな手ぶりや可憐な集団などの融合構成でなされる郷土紹介など、いいようがなかった。出演いただいたかた

関係者に深甚の謝意を表したい。

文部省加藤調査官は、当市推進地区担当の特殊教育の専門家で過去1回指導に見えていたが、今次発表会に臨席して「前回来伊の時に比して予想しなかったほどの脱皮急前進だ。市教委の推進地区に対する責任ある積極的姿勢は、学校・地域の全面的協力も加えて抜群、今までに例を見ない」との賛辞をくださった。講演がまた、自身が体験された実績に立脚するすばらしい内容だったが、これは別の機会に報告したい。

教育長の閉会あいさつの中で「本市教育の中における特殊教育は、ともかく本日みえていただいたとおりの段階にまできているが、まだいくつもの問題点を抱えている。こんごはこの機会を再出発の起点として更に精進努力したい」といわれた。これは、そっくりわたしたち伊万里市教職員の気持・決意にほかならない。市民総ぐるみのご理解ご協力をお願いしたい。

特殊教育推進協議会本部員藤田平太



# 無袋なしなど8,400本植える

## 南波多町谷口地区のなし園完成

南波多町の谷口地区に協業経営のなし園が完成し、12月8日、竹内市長や前田南波多農協協長らが、造成したばかりのなし園に記念の苗木を植えました。

完成したなし園は約14ヘクタールです。第2次農業構造改善事業の関連事業である農用地開発事業により約5,000万円をかけて、45年度から2か年事業で造成しました。

これから、17戸の農家が管理や防除・収穫・出荷まで、すべて協業で経営することにしています。そのため、人手のかからないように、無袋品種を主として8,400本を植えつけます。

また、園内道路は、本年度中に舗装するほか、10アールをわずか10分間で薬剤散布するスピード・スプレ

ヤーを導入するなど、成木になる8年後には10アール当たり、2.5トン約30万円の収穫を見込んでいます。なお、これと並行に農家が耕作している水田14ヘクタールは、本年度か

ら3か年事業で実施する同町北部地区の水田132ヘクタールの整備事業にあわせ、水田の一区画を30アールに広げる計画です。

また、経営規模を拡大するため60年度までに、現在57ヘクタールのなし園を125ヘクタールに、2ヘクタールのぶどう園を20ヘクタールに広げ、将来は、果樹園と伊万里焼を結びつけた観光農業も計画しています

# 向陽園にアンマ機を贈る

## 同年の4グループが合同で

同じ年に生まれた者同志で結成している4つのグループ(十年会・虎城会・一六会・一八会)は、12月1日、伊万里ボウリングセンターで合同の年末助け合いボウリング大会を開き、そのときの会費や、会員から集まったお金で、伊万里向陽園(吉岡重三園長・90人)に、電動マッサージ機(4万5,000円相当)1台を

贈り、おとしよりから喜ばれています。

このグループは、それぞれ月1回例回をもち、会員相互の親睦や講師を招いて、市政問題などの学習会も開いていますが、このほどこの4つのグループで連絡協議会をつくり社会事業の一つとして実施したものです。

十年会は、昭和10年生まれ7人。虎城会は、昭和13年生まれ23人。一六会は、昭和16年生まれ25人。一八会は、昭和18年生まれ25人の、あわせて80人の人たちです。

贈られたマッサージ機は、さつき向陽園の食堂に備え、おとしよりのちがかわるがわる使用しています

自治省は、新有権者が昨年の参議院議員通常選挙や統一地方選挙などで社会人として、とくにみずから経験し、考えたり感じたことを要約して、これを発表する機会を設けるため新有権者の感想文を募集しています。

▷応募資格 昭和26年1月1日から昭和27年12月31日までに生まれたかた。

▷内容と標題 最近の選挙においてあるいは新有権者または社会人として地方自治や国政への参加について自分自身で経験したり、考えたり、感じたこと。

▷枚数 1,600字(400字詰原稿用紙4枚以内)

▷締切期日 昭和47年1月31日(当日づけの消印は有効)

▷提出先 佐賀市城内1丁目1番59

号・佐賀県選挙管理委員会(郵便番号840)

▷選考 県選管で2篇を選び中央審査で入選を決定する。

▷入選発表 3月25日ごろ県選管を通じ、本人に直接通知します。

▷賞金

最優秀 3万円(1篇)

入賞 1万円(1篇につき)

### 新有権者の

### 感想文募集

佳作 記念品

・応募者は、住所・氏名にフリガナをつけ、性別・生年月日・職業を原稿の末尾に明記すること。

・応募原稿は返却しない。

・入選作品は、明るく正しい選挙推進運動のために自由に使用する。

・この感想募集が行なわれることを知った媒体名(新聞紙名・ラジオテレビ局・広報紙など)を記入すること。

### 市民会館壁画の

### 縮少板注文受付中

伊万里焼の製造工程をえがいた陶芸板の注文を受けます。大きさはタテ・ヨコ20センチメートル。図柄は市民会館の壁画からとったものです。

▷頒価 時価2,000円を予約者に限り1,600円

▷申込先 伊万里市観光協会(西肥バスセンター内)電話3479

▷しめきり 1月31日

▷代金 2月下旬、現物と引換えにいただきます。



円屋根（ドーム）と4本のせん塔（ミナレット）でおなじみの回教（イスラム）寺院がそびえ、大小さまざまな船舶が激しく出入りするトルコ最大の港都イスタンブール（人口223万人）に上陸した。

下町へ行くガラタ橋の上はいろいろな国の人びとのうずで、さながら「民族の祭典」を思わせる。その巨大な石橋の両側には、おりから夕方のラッシュのためか、魚やパン・羊肉に水、それにコマ・ボウシ・絵はがきはては体重はかり屋がずらりと並び奇声をあげては通行人の注意をよんでいた。

市場（バザール）は、うす暗いトンネル内であって、皮ブクロやカバン・ジュウタンが山をなし、観光客を含めて群衆は、そのなま臭いただ中を右往左往している。話しかければ愛想好い同国人は、鉤鼻（かぎばな）と炯々（けいけい）たる眼光をもつせいかそんな人が多く、中肉中背で肩幅の広いところはいかにもレスリング好きに見える。婦人たちは色白で小柄が目立ちおとなしそうなのは回教独特の黒衣の加減であろうか。

このような人たちが日本人だとわかると「ジャポン」と手をさしのべてくる。なかには日露戦争を知っているのか「帰ったらトーゴーさんによろしくネ」と親しみをみせる老紳士もいた。

高校進学率は23パーセント、文盲率男40・女70パーセント。そこで識字運動が展開されている。

## 新成人はぜひ国民年金加入を

1月15日は成人の日。成人の日を迎える皆さんは、天下晴れておとなの仲間入りです。もちろん、その日から成人としての権利と義務をもつことになります。国民年金に加入することもその一つといえましょう。

ボスボラス海峡を北上して黒海に入る。ソ連の勢力圏内というのに軍艦も飛行機の影響も見えない。

ルーマニアのリビエラといわれるママイアの海岸を訪れる。白砂が黒海と対照的で、夏には海水浴場として人気をあつめるところである。共産圏で唯一のラテン人の国のこととして「スラブの孤島」と呼ばれ、町中はヨーロッパ的ムードが漂っていたレストランではブドウ酒をいく種類も味ききさせてくれ、このような店には必ずあるテラスでは民族舞踊が上演中であった。ニコヤカな花の乙

### ヨーロッパの旅

## 親日的なトルコ

伊万里商業高等学校 田中勲教諭

女たちが軽やかに踏むタップ、それにあわせて調子よく響く手拍子の繰り返しは、観客を魅了する。

「民芸の宝庫」だけに伝統の刺しゅうもすばらしく、赤・青・黄の原色も鮮やかなレースが飛ぶように売られていた。義務教育は7年制で、教科書は無償給付が始まっている。

バルセロナ（人口160万人）は地中海に面するスペイン第2の都市で中世以来のゴシック寺院が古色蒼然と残っている。コロンブスの立像とアメリカ発見に活躍した「サンタ・マリア号」が湾内に浮かんでいた。

商店街のどこの店でも東をなして陳列してあるのは、その昔、海賊や

軍人あたりが用いた両刃の剣や短銃で、とうとう本物の「海洋民族」の国にきたという実感が湧いてくる。

食糧品ではタマゴ・肉は日本より安く、果物はたいして変わらない。

斗牛観戦に4層からなる円形斗技場の3階席（1,200円）にすわる。観衆は、約2万人ファンファーレも高らかにいっぼうから出演者の入場行進、そして片側のブルベン（牛のたまり）から黒牛登場で満場息をのむ。この猛牛を10人ほどの助手たちがモリや槍で突きまくる。牛は前脚で土をけたてて突進する。しかし、晴れの斗牛士がでるころには、この悲しい牛はダウン寸前、彼は何の勞することなく牛のとどめを刺して幕1頭平均15分、1日6頭が殺されていくように開期中はセットされているようだ。

フラメンコといえばカルメンを思う。スペインの宵、安ブドウ酒をなめながら見物する。料金は2,400円イキのいい娘、オバサンの踊り子たちが情熱的に舞い狂う。カスタンネットの高鳴り、ギターのかき鳴らし、けんらんたるスカートひるがえりかくて幻想の夜は更けていく。

（おわり）

### ＝ 記事訂正とおわび ＝

12月1日号の記事のうち、次のようにあやまりがありました。おわびして訂正します。

・「ヨーロッパの旅」のつやなる林は艶（えん）なる林・バルチレンはバルテレンのあやまりです。

いずれかの年金制度に加入する建前です。したがって、官公署や会社などに勤めていない人は、20歳になるとすべて国民年金に加入しなければなりません。しかし、若いだけに関心が薄く加入率は低調です。

名実ともに社会人としてスタートする機会に、ぜひ加入しておきましょう。



新 入 児  
ジフテリア予防接種

▷対象者 4月に小学校に入学する  
児童(昭和40年4月2日から昭和41  
年4月1日までに生まれたかた)

▷日時と場所

- 1月19日 黒川小学校
- 20日 波多津東小学校
- 21日 伊万里小学校(立目校区  
を含む)

※時間 13時30分~14時30分

妊 婦 検 診 と 相 談

- 1月11日 13時~15時  
波多津町小島医院  
東山代町内山医院
- 18日 13時~15時  
南波多町小島医院
- ◇ 13時~14時30分  
大川出張所(相談)

保 育 園 入 園 申 込 込 み

保育園の入園申し込みは、1月17  
日から2月16日までです。印鑑・46  
年源泉徴収票(給与所得者)・国民  
健康保険被保険者証をもって保育園  
へ申し込んでください。

市外から転入したかたは、前住所  
の市町村役場から「46年度市県民税  
額明細書」をとりよせてください。

入園資格は、次のいずれかに該当  
するかたです。ただし、母親以外に  
保育できるかたがあるときは入園で  
きません。

- ▷母親が、昼間家庭外で仕事をして  
いる。
- ▷母親が、家庭で家事以外の仕事を  
している。
- ▷母親がいない。
- ▷母親が出産前後であったり、病氣

をしている。

- ▷病人や身体障害者がいて、母親が  
その看護をしている。
- ▷火災などで家を失ったり、破損し  
たため、その復旧で子どもの保育  
ができない。

こ と し の 相 談 日

- ▷消費生活苦情相談 毎週月曜日  
9時~15時 相談員 永山松江
- ▷交通事故相談 毎月第2・4火曜  
10時~15時 相談員 佐賀県交  
通事故相談室係員
- ▷内職相談 毎週水曜日  
10時~15時 相談員 池田千鶴
- ▷無料法律相談 毎月第3木曜日  
10時~15時 相談員 弁護士
- ◎相談場所 市役所市民生活室  
電話 代表 2111番  
直通 3937番  
農協有放 2411番

次のかたからご寄付をい  
たできました。厚くお礼申  
上げます。(敬称略)

社会福祉事業費へ

- ▼香典返しを寄付
- 田中厚美(二里町中里  
亡父安吉)
- 金子アサ代(山代町久原  
亡夫初義)
- 松尾輝夫(立花町小式原  
亡母キヨ)
- 前田勲(南波多町大川原  
亡父浅右エ門)
- 井手隆肇(大坪町上古賀  
亡母ミナ)
- 橋本淳子(山代町浦の崎  
亡夫虎雄)
- 草場尚真(大川内町大川  
内山 亡母ヤク)
- 前田タツエ(東山代町里  
亡夫左一)
- 平山トシ(大川町駒鳴  
亡夫勝次)
- 瀬戸口栄(二里町八谷揃  
亡母ムメ)
- 原保治(松浦町中野原  
亡妻モキ)
- 古賀イネ(松浦町桃の川  
亡夫竹佐)
- 霜村一郎(伊万里町幸善  
町 亡妻タエ)
- 牧瀬又一(東山代町里

ありがとう



いただきました

- 亡妻ヨシ)
- 福永徳人(瀬戸町早里  
亡母ロク)
- 石田勇(木須町木須西  
亡父徳助)
- 灰崎永作(黒川町奥野  
亡母スエ)
- 川崎末次(松浦町中野原  
亡母ケサ)
- 水上房代(山代町浦の崎  
亡夫準太)
- 片岡弘道(二里町川東  
亡父雪次)
- 亡妻ヨシ)
- 七百円 朝比奈良正(東  
京都目黒区目黒本町 戸籍  
抄本の残金を寄付)
- 老万円 伊万里仏教会  
(累計一五七万三八六五円)
- 教育振興奨励基金へ
- ▼香典返しを寄付
- 野口四郎(大川内町市村  
亡母セキ)
- 藤森邦夫(波多津町内野  
亡父力造)
- 前田正夫(南波多町笠椎  
亡父勇)
- 水上房代(山代町浦の崎  
亡夫準太)
- ▼篤志寄付
- 五千円 西田勝次(東山  
代町里)
- 老万円 ときわ会竹下実  
恵子(伊万里町今町 特殊  
教育研究大会筆曲出演謝礼  
を寄付)
- (累計八六三万五二〇〇円)
- 交通遺児へ
- 老万円 伊万里ライオン  
ズクラブ
- 老万二千四百十円 伊万  
里警察署員一同 ポーナス  
の一部を寄付)
- (昭46・12・20現在)



# こどもページ

## さいゆうしゅうしょう うめぎき かみしま 最優秀賞に梅崎・神島さん

### だいごかいこ はな かたたいかい 第5回子ども話し方大会ひらく

#### 話し方大会で入賞したみなさん



③ 波多川小6 井手 昭仁



② 黒川小6 杵島貴美子



① 山代東小5 梅崎 文香



① 伊万里中3 神島 恵子



② 伊万里中3 岩崎 恵子



③ 伊万里中3 楠田 哲生

伊万里市子どもクラブ連合会主催の、第5回子ども話し方大会が、11月28日の午前9時から、市民会館の大ホールで開かれました。

大会のはじめに、大川内町の岩谷子どもクラブを指導している、同じ部落の副島秀男さん(25歳)を表彰しました。

副島さんは、岩谷部落のお友だちが、健康で、明るい、すなおなお子であるようにと、お友だちや父兄に呼びかけ、4年前に子どもクラブをつくり、一生けんめいお世話をしました。そのかいあって、ことしのスポーツ少年団大会などには、岩谷子どもクラブが、大川内町の代表として出場することができました。

副島さんの、こうした日ごろの努力をたたえて表彰したものです。

話し方大会は、伊万里市内の子どもクラブの中から選ばれた、小学生16人・中学生13人が出場しました。

開館したばかりの市民会館大ホールの広い会場で、高い演壇からマイクを使って行なわれました。



各町から選ばれた代表だけに、みんなりっばな態度で、力強く、どうと発表し、会場が話し方を聞いていた子どもクラブの人や学校の先生・父兄などからさかんな拍手をうけました。

市教育委員会の人や市婦人会長など8人の審査員が、話し方の態度や話の内容などを審査しました。

その結果、小学生の部では「わたしの尊敬する人」と題して、朝早く起きて牛乳配達をしたうえ、会社に出て働き続けるおかあさんへの感謝の気持ちをのべた山代東小学校5年の梅崎文香さんと、中学生の部ではなくなったやさしいおとうさんをしのび、あすへ向かって、強く生きるこ

とをうったえた伊万里中学校3年の神島恵子さんが、それぞれ最優秀賞に選ばれました。なお、小・中学校あわせた団体では、伊万里町子どもクラブが1位に選ばれ、伊万里市長杯をもらいました。

また、この大会では、はじめて幼稚園児の発表もあり、伊万里幼稚園と伊万里カトリック幼稚園のかわいい園児たちが、お話や詩をあんしょ

うして、みんなからさかんな拍手をうけました。

大会が終わったあと、審査に当たった8人の審査員の皆さんは、話し方は、年ごとによくなっている。また、マイクを使うのははじめてだったのに、みんななかなかじょうずだったとほめていました。

来年は、もっとよくなるようにみんながんばってくださいね。

なお、入賞した団体や個人は次のとおりです。

#### 〔団体〕

- ① 伊万里町子どもクラブ
- ② 二里町子どもクラブ
- ③ 大坪町子どもクラブ

#### 〔個人〕

##### ▶小学生の部

- ① 梅崎文香(山代東小5年)
- ② 杵島貴美子(黒川小6年)
- ③ 井手昭仁(波多川小6年)

##### ▶中学生の部

- ① 神島恵子(伊万里中3年)
- ② 岩崎恵子(伊万里中3年)
- ③ 楠田哲生(伊万里中3年)